

1/30 葉たばこの豊作を願って

鷹島町葉たばこ生産組合（松瀬邦次組合長）



同組合が、鷹島町の共同育苗施設ハウスで令和7年産の葉たばこの豊作祈願と種まきを行いました。

種まきには、組合員や関係者ら約30人が参加。1ミリ以下の小さな種に水を混ぜ、500平方メートルのハウスに敷き詰められた苗箱にじょうろを使ってまかれました。種は、20日程度育苗した後、組合員それぞれが持ち帰り、栽培ポットに移植後、3月上旬に2,470アールの畑に作付け、5月中旬から収穫される予定です。

2/1 新人選手のフレッシュな試合

第28回弥生杯小学生新人バレーボール大会



松浦市小学生バレーボール連盟が主催するこの大会は、バレーボールを通じて児童のふれあいと交流の機会を広げ、技術向上と試合に参加する喜びを体験してもらおうと開催されています。

当日は県内外から女子31チーム、混合チーム16チームが参加。6会場に分かれて予選、決勝が行われ、子どもたちは熱い声援に負けじと大きな声と積極的なプレーで熱戦を繰り広げました。

2/7 仕事への熱い思いを発表

消防職員意見発表会



この発表会は職員の自覚と志気の高揚、資質の向上を目的に開催されており、今年は各所属の代表6人が職務にまつわる教訓や抱負、提案などを発表しました。

「元気ですか?」と題してメンタル不調防止にはお互いを思いやる気持ちが大切であると発表した森強さんが最優秀賞に選ばれました。森さんは4月11日に対馬市において開催される第48回長崎県消防職員意見発表会に市代表として出場します。

「松浦の極み」地元商談会



松浦市の水産物・農産物・加工品の中から厳選された「松浦の極み」12品目など、市の魅力的な産品の販路拡大に向けて市内生産者11社と外食業、通販、百貨店など全国から集結したバイヤー6社との商談会が松浦シティホテルで開催されました。

前日にはバイヤーが生産者を訪問し商品開発や改良に向けた個別指導が実施され、今後の販路拡大に向けたきっかけづくりとなりました。

第12回文化公演



松浦市文化協会（黒川廣治会長）が主催する同公演が文化会館で行われました。

舞台発表では、新見タカさんによる松浦の民話「石童丸」の語りを皮切りに、市内の文化団体が詩吟、合唱、読み語り、楽器演奏など日頃の活動の成果を堂々と披露。訪れた観客からは、大きな拍手が送られました。

また、つばきの盆栽、押し花、短歌や俳句などの作品も展示され、特別イベントとして、松浦福島つばき会による「つばき講習会」も行われました。

木育キャラバン in 松浦



子どもから大人まで多くの人が木に触れて温もりを感じることができた同イベントが2日間に渡り文化会館で行われました。

当日は、特定非営利活動法人芸術と遊び創造協会の協力のもと、移動型おもちゃ美術館が開設され、普段触れる機会の少ない200種類を超える木のおもちゃが勢ぞろい。このほかにも、地元の職人さんが地元の木を使い製作した遊具が並ぶ「MATSUURA 森の公園」などさまざまなブースが設置され、多くの子ども連れでにぎわいました。